

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2018.2.1

No.172



平成29年市議会第4回定例会
各条例の改正案、一般会計補正予算案を可決
中之島公園の指定管理者を決定

**新たな常任委員会委員で
市内現地視察を実施**

みのかも日本昭和村ハーフマラソン大会

主 な 内 容

- ◆定例会の審議結果…… 2・3P
- ◆委員会審査の概要 … 4・5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 6～13P
- ◆委員会委員の変更
議会を傍聴しました
議会日誌…………… 14P
- ◆活動ピックアップ…………… 15P
- ◆お知らせ…………… 16P

平成29年

第4回

定例会

各条例の改正案、
一般会計補正予算案を可決
中之島公園の
指定管理者を決定

市議会第4回定例会は、12月1日に開会し、21日までの会期21日間で開催しました。

初日は、10議案を上程、提案説明を行い、選第6号については、指名推選により議長が当選しました。11日、12日は、15人の議員が一般質問を行いました。

13日には、各議案に対する質疑を行い、委員会付託を行いました。

14日には、市長の退職の期日に関する同意を行い、付託された各議案の審査のため、文教民生常任委員会、15日には、企画建設常任委員会を開催しました。

21日には、各議案に対する委員長報告・討論・採決、追加された議第79号の提案説明、質疑・採決を行い、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

議第75号

平成29年度美濃加茂市
一般会計補正予算(第7号)

議案の概要

6,033万5千円の増額補正
補正内容の一部

○シティプロモーション事業(300万円)...

平成30年4月から、東濃地方を舞台にしたNHKの連続テレビ小説「半分、青い。」が放送される。このドラマの脚本を本市出身の北川悦吏子さんが手掛けられることから、番組のパネル展の開催や市の情報を盛り込んだ番組情報誌の印刷等を行い、市内外へPRすることにより、観光振興や地域振興に繋げていく。



「半分、青い。」×CamihnoをPRする広告とポスター

○古民家活用事業(103万円)...

大正期に建設された櫻井邸(伊深町)の土地と建物、加えて100万円の寄附を平成29年9月に受けたことにより補正するもの。建物の室内外の清掃や基礎調査の委託等を行っていく。



櫻井邸

○旧伊深村役場庁舎改修事業(2,040万4千円)...

現在着工中の改修事業を進めるにあたり、当初予定していた文化財の復元を中心とした工事に加え、地域のワークショップにて出されたデザインや機能等に関する意見を反映させるため、オープンキッチンやスロープ、門柱など内装や外構等の追加工事を行う。



旧伊深村役場庁舎 改修の様子

定例会の審議結果

議案等の審議結果
全会一致で承認・可決・認定された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第71号	美濃加茂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成29年の人事院勧告により、一般職の国家公務員の給与改定及び給与制度の総合的見直しの実施が勧告されたことから、この勧告に基づき、給料表の水準を引き上げる等の所要の改正を行うもの
議第72号	美濃加茂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	平成29年の人事院勧告を受けた一般職の給与改定に準じて、一般職の任期付職員の給料表の水準を引き上げる等の所要の改正を行うもの
議第73号	美濃加茂市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	公営住宅法施行令及び公営住宅法施行規則が、平成29年7月26日付けで改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの
議第75号	平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算(第7号)	6,033万5千円の増額、補正後の予算総額は213億2,632万2千円 ふるさと検定の実施、NHKの連続テレビ小説に関する企画、寄附物件の整備、旧伊深村役場庁舎改修の追加工事、私立保育園運営費等の補助事業などによる増額補正
議第76号	指定管理者の指定について	平成30年4月1日から平成35年3月31日まで、中之島公園の指定管理者を、中之島公園利活用共同体(代表企業：有限会社EAT&LIVE、構成企業：有限会社リタッグ)に指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの
議第77号	市道路線の認定について	市道西町513号線ほか6路線の認定
議第78号	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約に関する協議について	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の変更について、事務手続上の問題により無効とされた昭和52年10月1日以降の変更について、議会の議決を求めるもの
議第79号	平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)	1,180万4千円の増額、補正後の予算総額は213億3,812万6千円 1月28日執行予定の市長選挙のための増額補正
選第6号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約第8条第2項第2号の規定による選挙(渡辺益巳議長 当選)
	市長の退職の期日に関する同意について	藤井浩人市長が12月14日付けで退職することについての同意

賛否の分かれた議案

【表示記号】 議決結果：◎…可決 ×…否決 賛否状況：○…賛成 ×…反対 一…議長のため採決に加わらない		議決結果	議 員 名															
議案番号	議 案 名 主 内 容		渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	渡辺義昌	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄
議第69号	美濃加茂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	×	○	○	○	○	一	○	○	×	○	○	○	○	○
	平成29年の人事院勧告を受けた一般職の給与改定に準じて市議会議員の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの																	
議第70号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	×	○	○	○	○	一	○	○	×	○	○	○	○	○
	平成29年の人事院勧告を受けた一般職の給与改定に準じて常勤の特別職職員の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの																	
議第74号	美濃加茂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	×	○	○	○	○	一	○	○	×	○	○	○	○	○
	個人情報の保護に関する法律及び行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律が、平成29年5月30日付けで改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの																	

委員会審査の概要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。
※《は議案名、◆はその内容、○は補正金額。

文教民生常任委員会

《平成29年度一般会計補正予算(第7号)》

◆古民家活用事業(103万円)
…2ページ参照

問 櫻井邸と隣接駐車場の今後の活用方法は。
答 民間事業者から資金調達と活用方法を含めた提案を募集し、その事業者が運営していく方法を考えており、市費の投入が少ない形で活用できる方法を検討している。

問 旧伊深村役場庁舎改修事業(2,040万4千円)…2ページ参照



問 本改修事業の進捗状況は。

答 当初の指名競争入札が不調となったため、再入札の結果、岐阜市にある田中社寺(株)が落札した。現在のところ工期の遅れはなく、今後も進捗管理を行い、年度内に完成できるように進めていきたい。

なお、同社は多くの文化財の改修実績があり、本改修事業についても十分に対応していただいている。

問 同施設で来年度から実施予定である、カフェ運営事業の状況は。



答 21人の応募があり、書類選考・ヒアリングを経て、最終候補者を決定した。しかし、施設改修や地域のワークショップの結果を提示し協議を進めていく途中、候補者が辞退された。そのため、現在、次点の候補者と協議を進めており、近日中に正式決定できる予定である。

問 人件費補正…本年度の人事異動、採用や退職に伴う過不足等の調整。

問 保育士職員の時間外勤務手当が

300万円増額補正となった理由は。

答 土曜保育の勤務分を、当初は代休扱いとする予定が、代休が取得しづらい状況であったため、勤務体制をシフト制に変更したことで、手当が発生するようになった。

企画建設常任委員会

《市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例》

◆人事院勧告等を勘案し、12月の期末手当の支給割合を100分の10引き上げる。

問 これまでに人事院勧告に従わなかった事例はあるのか。

答 近年では、平成19年に特別職の賞与の引き上げを見送った事例がある。

《個人情報保護条例の一部を改正する条例》

◆個人情報保護法改正に伴い、個人情報保護の定義をより明確化し、要配慮個人情報などを定義するもの。法律以上に個人情報の保護を図る。

問 個人情報の定義に「音声、動作

その他の方法を用いて表された一切の事項」が新たに規定されたが、その具体的な例は。



委員会審査の概要



NEW

カミノーイベント
会場：美濃加茂市
主催：美濃加茂市教育委員会

クイズ大会やるよ!! みんな集まれ!!

M-1 スタジアム★クイズ王決定戦

美濃加茂市のことを知ってもらうために、ふるさと検定「M-1 検定」をはじめよう
そこで11・2月に美濃加茂市のことについてのクイズ大会をやります!!
小学校3～6年生のみんな、中学生のみんな、クイズ大会に参加しよう!!

クイズ王に
なりたいかー??
Wooooow!!

チャレンジ!! だいたいのクイズの
TV番組にあるようなクイズ大会とか
クイズ大会というクイズ大会で大会
上がりだ!! 1段階はステージで決まる!!

※時：平成30年2月18日（日）
13:30～16:00
※会場：美濃加茂市文化会館ホール
※参加できるひと：市内小学校3～6年生
※人数：300人以内
※タダで参加できるよ!!

参加のしかた
①電話（0574-28-1163）企画課にそのままするで申し込み
②FAX（0574-25-3917）で申し込み
③企画課（美濃加茂市役所 本庁舎 2階）へ申し込み用紙（55に
あるよ）を届けてください

くわしくは、うらを見てね!

M-1 検定
～1（イチ）から9（Minokamo）～
はじまるよ。
M-1 検定は、クイズ大会参加のふるさと検定です。

Q 美濃加茂市 M-1 検定

平成30年2月18日（日）開催予定です。

◆カミノー推進事業（250万円）：
地域の歴史、自然、産業などを学ぶ
「ふるさと検定」を実施するもの。検
定ドリルを作成するほか、小学生を
対象としたクイズ大会を開催する。

《平成29年度一般会計補正予算第7号》

審 査 会 員 は、弁護士、税理士、学
識経験者（大学教授）、人権擁護委員、
行政相談員の計5名の委員で構成さ
れる第三者機関である。今後は、審
査会の意見を参考に、ガイドライン
等を策定し、市民への周知、職員の
研修を行っていく。

審 査 例 えば、ビデオ撮影された画像
に、個人を識別する情報が入ってい
れば保護の対象となり、みだりに公
開できないことになる。

審 査 個人情報保護審査会委員の構成
等詳細は、また、今後の市の取り
組みは。

◆公共施設総合管理事業（100万
円）：PPP/PFI手法導入優
先的検討規程（公共施設等の更
新、改修、運営などを行う際に、
公が自ら実施する従来型の手法
よりも民間の資金や能力を活用
する方法）を定めたことに伴い、
今後、この手法を活用した施設
整備等を全庁で展開するため、
職員を対象に、外部有識者によ
る研修会を実施する。

審 査 検定問題の作成状況は。
教育委員会、文化振興課のほか、
インターネット等からも公募し、出
題分野に偏りのないよう、内容の精
査を業務委託する。

審 査 クイズ大会実施の詳細は。
2月18日（日）午後、文化会館
にて小学生を対象として開催する予
定である。

審 査 研修会開催の
詳細は。

審 査 金融機関のシ
ンクタンクから講師
を招き、全職員を
対象に計3回実施
する予定である。



審 査 木曾川を
活用し、カヌー
やラフティング
等を実施する
提案を受けて
いる。今後、
具体的に協議
を進めていき
たい。

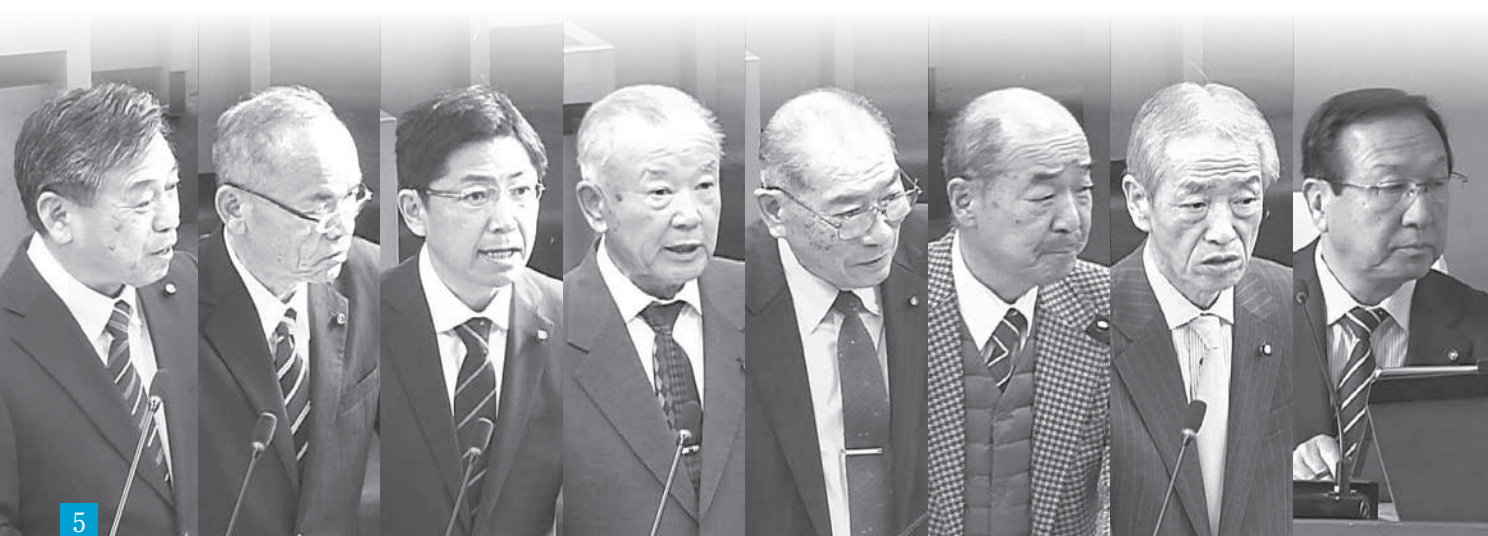
審 査 業者が収入を得る手段は。
バーベキュー広場やカフェスペース
等の使用料収入のほか、同学習館2
階の部屋の使用料収入等がある。

審 査 計画されている自主事業の内
容は。

審 査 指定管理の委託料の見込みは。
5年間で、初年度は上限額1、
748万3千円、平成31年度以降は、
毎年1,685万3千円を予定して
いる。ただし、バーベキュー広場や
自然環境体験学習館1階のカフェス
ペース等の使用料は、指定管理者が
市へ納付する。

◆平成30年4月1日から平成35年
3月31日まで、中之島公園の指定管
理者を、中之島公園利用共同体代
表企業：有限会社EAT&LIVE、
構成企業：有限会社リタッグに指定
する。

《指定管理者の指定》



市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、すべての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺益巳議長

■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

■視聴方法 [トップページ](#) ▶ [会議名から選ぶ](#) ▶ [平成29年第4回定例会](#) ▶
▶ 12月11日・12日 一般質問

■会議録検索システム <http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



森

弓子 議員

健康づくりの環境整備

問 第2期健康増進プランのウ

オークの啓発を。また、筋力トレーニングや介護予防運動教室を、生涯学習センターの健康ステーション以外の各地域に分散してはどうか。

答 ウオークは1日8千歩を啓発していく。また、介護予防の地域の運動教室は4教室ある。今後地域での開催を進めていく。

問 里山千年構想において、市民が北部里山を美濃加茂市民の里山として親しみ、健康づくりができる企画を。また、間伐材を活用したマレットゴルフ場構想を実現できないか。

答 市民の方々に、樹木の伐採や薪作り、植樹などの維持管理活動への参加を呼び掛けている。今後、トレッキングやマウンテンバイクなどのコース整備や里山マップ作り等を考えているが、マレットゴルフ場も検討する。

問 健康づくりに活用するため、公園を整備し健康遊具を設置するなど、幅広い年齢層に健康増進のために関係各課が連携して取り組んでいく考えは。

答 前平公園は、11月策定の再整備基本構想において、野球場北側を遊具広場として「魅力ある自然を生かした多世代が気楽に訪れる健康づくりの場」をコンセプトとして整備する。

健康の森は、老朽化した遊具、施設がまだ多くあり、引き続き改修や更新を進めている。健康というキーワードにこだわっていく視点は必要であり、健康づくりにつながる活動ができるよう工夫していく。

公園の健康遊具は、今後、設置数を増やす必要があると考えるが、現在、下古井の井戸畑児童公園が住民主体で改修の検討が始まり、健康づくりのニーズを探りながら連携していきたい。



薬師下諏訪公園(川合町)の健康遊具

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



山田 栄 議員

公共施設等総合管理計画

問 市民プール跡地は、同計画

における「前平総合公園再整備計画」に基づき、有効活用を検討される方針であるが、進捗状況は。

答 同基本構想の中で、市民プールの跡地は、フィットネス施設を想定する「民間活力導入検討用地」と位置付け、民間事業者の参入の可能性を検討していく。この基本構想は、市民アンケート、市民ワークショップ、市体育協会等の内部協議を重ね、小中学校プールの老朽化や健康増進事業の効率化、プラザちゅうたいのトレーニング施設の老朽化等の課題を考慮した結果である。

小中学校プールを統合する形で民間活力導入については、小規模自治体では事例がないため、内閣府も興味を持っている。内閣府が事務局を務める「官民連携の推進のための中部ブロックプラットホーム」が、今年9月7日に開催され、銀行や企業が参加する中、プレゼンを行った。また、平成29年12月22日には「ぎふPPP/PPFI推進フォーラム」にて、複

数企業に対しプレゼンの予定である。今後は、民間事業者の意向等を公募し、企業と市の合意可能ラインを検討し、その上で実施の有無を判断する。

加茂川総合内水対策事業

問 嵩上げ等の浸水対策、内水ハ

ザードマップの作成・公表、CCTVカメラ映像・河川水位等の情報配信、XバンドMPレーダーによる局地的豪雨の把握等、継続事業について、市の方針は。

答 市では、既存住宅の嵩上げ工事への助成などの浸水被害軽減対策を引き続き継続する。また、内水ハザードマップについては、国による対策事業後の浸水状況のシミュレーション結果をもとに、マップの修正を早期に実施し公表、配布ができるよう考えていく。なお、この事業により整備された河川のカメラ映像や水位等の情報は、市のホームページにおいて常時確認できるように改修した。あわせて、国や県などが提供している豪雨情報等についてもリンクしてある。今後も最新の情報を的確に提供できるよう継続的に内容の充実を図っていく。



牧田 秀憲 議員

堂上蜂屋柿

問 ブランド力向上に向けての取

り組みは。

答 今まで様々な取り組みを通して、堂上蜂屋柿のブランド力向上に努めてきたが、新たな試みとして、昨年度より国へ申請していた「GI」（地理的表示保護制度※）が、今年度には登録できる見込みとなった。同制度に登録されると、商品にGIマークを貼ることで、国がお墨付きを与えた製品として、他の製品との差別化を図ることが出来る。また、堂上蜂屋柿振興会で定めた手順により生産され検査を受けた干し柿しか「堂上蜂屋柿」と名乗れなくなるため、ブランド価値をさらに高め、生産者の利益を保護することに効果的であると考えている。

※地域で長年育まれた特別な生産方法によって、高い品質や評価を獲得している農林水産物・食品の名称を品質の基準と共に国に登録し、知的財産として保護するもの。
堂上蜂屋柿は、平成29年12月15日に登録された。



問 岐阜の柿と言えば「天下富舞」が、勢いを増している。堂上蜂屋柿は、何か策や手立てはあるのか。

答 堂上蜂屋柿も十分ブランド力では負けない農産物であると考えている。天下富舞の取り組みも参考として、例えば、毎年行う品評会で、その年の出来具合の評価や価格付けなどをマスコミや市民へPRすることで、広く注目が高まるような新たな取り組みについて、JAめぐみのや堂上蜂屋柿振興会と積極的に協議検討していく。



堂上蜂屋柿振興会品評会の様子。（平成30年1月15日）最高賞である県知事賞の干し柿を、シティホテル美濃加茂が5万円で購入した。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



村瀬 正樹 議員

防災訓練のあり方

問 今年度防災訓練が中止になった理由と悪条件下での実施の必要性や是非についての見解は。

答 当日は、台風の接近により荒天が考えられた。市民が訓練に参加した際、怪我をされる恐れもあったため、市長が中止の判断をした。しかし、本来、災害が発生する確率は、悪天候の時ほど高いので、通常の小雨程度であれば、訓練は実行すべきであると考えている。

問 今年度、意図していた訓練内容は。

答 各地区の実行委員会等において、災害対応の実行性の向上に重きを置き、大規模地震災害や土砂災害を想定した内容としていた。

問 各地区独自の訓練もよいが、市内同一の訓練内容にしては。

答 限定された地区で発生する災害もあり、内容も異なってくる。毎年訓練の反省を行うとともに、訓練内容を共有することで、次年度につなげたい。

問 大災害で2次避難所が大勢の人が入った場合を想定した

訓練は。

答 南海トラフ地震での避難者数を、2,111人と想定している。

簡易間仕切り訓練や仮設トイレの展示による周知など、避難所生活を想定したものを取り入れている。今後は、避難所生活や自主運営を想定した訓練を考えたい。

問 避難所における防災備品の備蓄状況は。

答 東総合、西総合、境松、旧給食センター、蜂屋・山之上・伊深・三和の各連絡所の倉庫に分散して保管している。内容は、食料約5千人分、簡易トイレ59基、石油ストーブ15台、毛布約1千枚、間仕切りダンボール800組である。



東総合大型備蓄倉庫



坂井 知足 議員

平成記念公園日本昭和村の名称変更と再整備

問 平成記念公園日本昭和村が、平成30年4月にリニューアルオープンすることになっているが、新しい公園の名称と特徴は。

答 新しくオープンする公園の名称は「ぎふ清流里山公園」となり「日本昭和村」は使用しない。最大の特徴は、入場の無料化であるが、利用形態も立寄型利用と目的型利用の二形態を想定して、物販や飲食施設、屋根付き広場や樹上型アスレチックなどが整備されることになっている。

「8・17集中豪雨災害」50周年記念事業

問 昭和43年8月17日の集中豪雨災害から、来年は50周年という節目の年を迎える。この災害を忘れないためにも、市としても記念すべき事業が必要と考えるが。

答 8・17集中豪雨では、7名の方が亡くなられており、復興記念事業の際には黙とうを捧げるなどしている。現在、三和地区のまちづくり協議会でアンケート調査を実施す

るなど、来年の50周年に向けた準備が進められているので、市としても連携していきたいと考えている。

子どもの食物アレルギーの現状と対策

問 保育園児や小・中学校の児童生徒における食物アレルギーの現状と、各対象園児、児童・生徒に対する給食はどのように対応しているのか。

答 保育園では、各園で給食を調理しており、食物アレルギー対象の園児は32名（全体の3・88%）である。給食については、除去食[※]、代替食で対応し、毎日、調理員と保育士が打合せを行い、普段から十分注意し、緊急時には対応マニュアルによって対応することになっている。

小・中学校では、学校給食センターで給食を調理しており、食物アレルギー対象の109名（全体の1.9%）の児童生徒には、除去食や代替食は提供していない。保護者へ加工食品配合表等を渡し、一部代替食や弁当を持参いただいている。ガイドライン、対応の手引き等で事故防止に努め、緊急時には各学校でマニュアルを作成している。

※原因となる食品を除いて作る食事。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



柘植 宏一 議員

MT夢クラブ

問 地域総合型スポーツクラブを
目指すとした設立目的が失わ
れ、加盟団体の施設利用減免が
主目的となっている現状から、
市議会の事業評価において「廃
止」の提言が行われた。スポー
ツ活動と文化活動を分離したう
えで、今後のジュニアスポーツ等
の在り方の検討も含め、MT夢
クラブの枠組みの中で、しっか
り時間をかけて、発展的解消に
向かうべきと考えるがどうか。

答 課題に対する考えや、クラブ
の目指す方向性をしっかりと持っ
てから改編するためには、活動中
の団体の意識の持ち方が重要にな
り、相当な時間を要する。市議会
の提言を受けて、運営協議会を開
催し協議を進めているが、議員の
提案を含めて、引き続き運営協議
会で検討していきたい。

井戸畑児童公園改修

問 都市公園等の再整備におい
て、地域住民等の関係者の参画
を得て事業を推進することは、
公園の利用拡大や地域のまちづ

くりの観点からも大変有効な手
法であると考え。計画を含め
た事業推進期間の見直しが必要
と考えるがどうか。

答 当初の事業期間は、今年度末
までにワークショップを3回実施
し、公園整備計画図を作成するこ
ととなっているが、本事業では住
民参画の過程が最も大切であり、
当初のスケジュールに固執せず、
慌てず、慎重かつ柔軟に対応して
いきたい。

新しい総合事業にかかわる協議体

問 第2層の協議体※は長寿支援
センター領域ではなく、小学校
区領域で設置することが現実的
と考えるがどうか。

答 本市では、長寿支援センター
の圏域と捉えているが、小単位の
方が円滑な活動が考えられること
もあり、課題解決に向けてのケー
ス検討は、小学校区域で地域ケア
個別会議を開催するなど柔軟に対
応をしていきたい。

※生活支援体制整備のための協議体設
置における階層。第1層協議体は
市全体を対象とし、第2層協議体
は日常生活圏域(中学校区等)を対
象としている。



前田 孝 議員

災害時情報伝達体制
確立事業の進捗状況

問 CCNetのケーブルテレビ
回線利用について、平成29年末
までに契約が済み、受信が可能
となることであったが、現
状はどうか。

答 CCNetによるFMからの再
放送に伴う、東海総合通信局への許
可申請手続きが遅れており、配信は
平成30年2月になる見込みである。

問 スマートフォンにFMからの
アプリをダウンロードすること
を、広報みのかでも周知し、市
役所関係窓口でも、その方法を
説明するということであつた
が、その現状は。

答 スマートフォンへのダウンロードに
ついては、広報11月号で周知した。
今後、市役所や連絡所に説明用紙
を掲示する。

問 防災ラジオ1,600台の貸
与状況は。

答 平成30年始めから、伊深・三
和地区へ貸与を計画している。また、
同地区以外の75歳以上の高齢者の
みの世帯にアンケート(防災ラジオ貸
与希望調査書)を実施している。

問 前述アンケートの対象世帯数

は。また、その結果は。

答 配布世帯は2,347世帯で、
1,421世帯から回答があり、う
ち貸与希望世帯は1,082世帯
であつた。平成30年始めから貸与を
開始したい。

問 11月14日にJアラート(全国
瞬時警報システム)が、行政無
線で放送されたが、災害や事故
の情報は緊急伝達が必要であ
る。全戸に戸別受信機を設置す
る考えは。

答 現在のところは考えていないが、
ラジオの貸与や今後の状況をみなが
ら検討はしていく。

公立学校や公共施設の
トイレの現状と洋式化

問 学校のトイレの総数と洋式化
の状況は。

答 小学校は、総数478個、うち
洋式264個で、洋式化率55.2%。
中学校は、総数108個、うち洋
式75個で洋式化率69.4%である。

問 公共施設(公園・連絡所等
含む)のトイレの洋式化につい
て、今後の計画は。

答 学校・保育園を除く27公共施
設の洋式化率は51%、公園は21%
である。今後、各施設の改修にあ
わせ、積極的に洋式化を進めるこ
ととしている。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



日置 祥子 議員

介護保険制度

問 平成28年度、介護保険料の歳入歳出差額が22・1%も増加している理由は。

答 第6期介護保険事業計画は、平成27年度から29年度までの介護給付費の見込みをベースとした予算額となっている。要介護認定者の数が、見込みより少なかったためである。

問 第6期計画では、定員1000名の特別養護老人ホームが整備されることになっていたが、それも関係しているのでは。

答 介護人材不足や周辺地域に新規の同ホームが建設されることにより、第6期計画が中止となることも関係する。

問 介護給付費について、平成27・28年度の不用額が多いのはなぜか。

答 制度改正により、当初の見込みより介護給付費が少なくなったことで、不用額が生じた。

問 サービス供給の見込み違いということか。(サービス供給に応じて介護保険料が連動しているのですが、介護サービスを多く見込めば介護保険料は高くなる。)

答 そのとおりである。

問 第7期の介護保険料について、収入に対する負担率の考えは。

答 保険料段階等の改定は、所得に応じた負担の累進性の観点から決定していく。

原発による核のごみ処理場

問 経済産業省が最終処分場候補地域の「科学的特性マップ」を発表したが、市長の所見は。

答 最終処分場については、平成7年に、岐阜県知事が受け入れないと表明している。本市も受け入れることはできないと考えている。

問 民間団体から、処分場もそのための調査も受け入れないという意思表示を求められたが、本市は曖昧な回答をした。国が処分場としてターゲットとするのは、最適地だからではなく、住民が関心を示し、市長が話に乗ってくるかどうかである。県知事の同意は必要ない。ごみを地下に埋めること、再稼働ごみを出し続けること、という2点の危険性から、本市では受け入れないでほしいが、所見は。

答 受け入れることはできないと考えている。



佐合 広和 議員

元号変更に伴う対応

問 今後、国民の祝日に関する法律の改正により「文化の日」が「明治の日」として制定された際に、本市も明治150年関連施策として、記念式典などを行う意向はあるか。

答 国の「明治150年関連施策の推進について」の中では、明治以降の歩みを次世代に遺す施策や明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策の実現に取り組み、自治体や民間も含めた多様な取組が推進されるよう機運を高めていくとされているが、明治の日の制定に関係するような記述は見当たらない。今後、その行方を注視し、何らかの変更や改正がある際には、国から発出される通知に基づいて、判断していきたい。

戦没者追悼 平和祈念式のあり方

問 式典の際、追悼文の朗読が祭壇に背を向けて行われ、また、従来はなかった中学生による「平和の誓い」作文の朗読が併せて行われるなど、遺族会の方々に十分理解が得られたのか疑問であった。主催者として、進行や形式などについて、遺族会や業者との程度協議をされ、実施されているのか。

答 昨年度から戦没者追悼式と平和祈念式を同時開催としており、この中で市内中学生から「平和の誓い」を述べていただいている。式典については、事前に遺族会、運営業者、中学生とそれぞれ数回打ち合わせを実施している。また、前日には遺族会会長、中学生、運営業者、司会者等も加えたりハールを実施、当日朝も最終リハーサルを実施して式典に臨んでいる。今年度は、遺族会からのご指摘もあり、慰霊碑への向き方や立ち位置などを修正させていただいた。今後も広島・長崎での平和祈念式典を参考にしながら、遺族会及び運営業者と十分な協議をして式典を執り行いたいと考えている。



戦没者追悼・平和祈念式の様子

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



渡辺 義昌 議員

いじめ等の現状と対策

問 平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」が発表された。調査結果の内容について、市の現状と対応は。

答 市内の小中学校のいじめ等の現状は、対教師暴力が15件で、内訳は小学校10件、中学校5件。生徒間暴力は62件で、内訳は小学校50件、中学校12件。器物破損は3件、内訳は全て中学校。対教師暴力、生徒間暴力のいずれも、小学校からの報告数が中学校よりも大きく上回っていることが特徴で、全国と同じ傾向である。

問 「美濃加茂市いじめ防止対策推進条例」の施行による、いじめ防止に対する事業や施策は。また、地域活動やボランティア活動など個人の趣味や得意分野を生かせるような活動が、いじめ対策になると考えるがどうか。

答 条例を受け、美濃加茂市いじめ問題対策連絡協議会を設置しており、市内の事業所10店舗に「いじめ防止協力事業所等」に登録いただき、子どもたちの見守りや声掛けなどの協力を得る取り組みを

している。

地域活動や各種ボランティア活動に参加できるような機会をつくりながら、いじめに対する知識などを啓発していきたいと考えている。

空き家活用と空き家対策

問 「美濃加茂市空き家バンク」を作成する計画は。

答 空き家バンクの創設、運用については、空き家等の解消、定住促進及び地域の活性化並びに地域コミュニティの維持にもつながる施策として有効であるため、現在、要綱案を作成しており、今年度中に運用を開始する。

問 放置された危険な空き家についての対応は。

答 空き家の実態調査においてF判定※の物件は12件ある。1件は所有者により処理がされ、2件は所有者が実際に利用している。残り9件は、適正な管理をお願いするとともに特定空き家等の認定の検討作業に入る。放置しておけば、行政がやってくれるということにならないよう啓発に努める。

※放置すると倒壊の恐れがあり、対策が必要な状態の空き家。



金井 文敏 議員

本市のSDGsへの対応

問 国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として制定された。問題の解決のためには、政府ばかりではなく、いろいろな背景をもった人たちがつながりあって、それぞれの良さを活かしながら、創造的に進めていくことが大切であるとされている。SDGs達成のためには、一人ひとりに焦点を当てる必要があるが、本市のSDGsに対する取り組みは。

答 誰一人取り残さない社会の実現を目指して、SDGsを推進することは、地方創生の実現にもつながるものであり、その理念や取り組みを踏まえ、今後の各種計画策定や事業展開を図っていくことが必要と考えている。その他、現在取り組んでいる各種事業に関しても、SDGsの実現につながるものが多くあるので、職員全員がSDGsに関する認識を深め、事業遂行や計画策定の際には、改め

てSDGsの理念や要素を踏まえ、広く市民にも、その重要性を周知し、市民、企業、団体及び行政が協働して事業や活動を展開していく必要があると考えている。

※エスディージーズ。平成29年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標。循環型社会、温暖化防止、生物多様性の保全、女性の活躍など17の目標が設定されている。

成人健康診査

問 誰もが健康で生きがいをもって生活するため、また、将来的な医療費や介護給付費の増加を防ぎ、健全財政を進めていく上で、適切な行政サービスの提供体制を築くことについて、市の考えは。

答 今年度、駐車場の混雑回避目的として、会場を保健センターから文化会館に変更した。来年度は、休日を含めた受診回数の増加を検討し、利便性の向上に努めたい。また、受け損ね対策として、未受診者へ電話による受診勧奨と検診日の調整も行っている。加えて、クーポン検診を複数の検診で実施し、受診率が向上している。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



片桐 美良 議員

予算関係

問 ふるさと納税の現況(件数・金額)と今年度見通しは。

答 平成29年11月末現在、15,133件、3億6,024万円である。今年度の寄附金額は、6億5千万円程度になると予測している。

問 平成30年度予算編成の基本方針と重点施策は。

答 「もっとと活力」「もっとと安心」「もっとと教育」を重点施策に掲げ、歳出改革に取り組み、未来を見据えた政策を進める。

職員人事

問 スペシャリストの人材を育成していく考えは。

答 職員の意向を確認しながら、方向性について検討したい。

問 本人の希望を酌み取る仕組みは。

答 毎春秋頃、自己評価や異動に関し希望等の自己申告書の提出を求め、極力意向を反映できるように努めている。

問 人事評価の方法は。

答 10月と1月に能力評価と業務評価(目標管理型)の2つの面で、総

合的に評価する仕組みとなっている。
問 女性管理職登用のための施策実施状況とメンター制度導入の考えは。

答 平成32年度までに管理職と係長職以上の監督職の女性職員割合を25%以上とする取り組みを進めている。目標達成のために働き方改革を推進し、職場改善していくことが重要であると考えている。また、メンターは選任していないが、人事課に女性の課長補佐を配属し女性の相談窓口としている。

キャリア教育

問 キャリア教育を通じて、目指す子どもの姿は。

答 自分が自分として生きるため、学び続けたい、働き続けたいと強く願い、実現させようと努力する姿を目指している。

問 小中学校の取り組みは。

答 様々な大人とふれあい、多様な価値観にふれることを大切に進めており、各学校や地域の実態をふまえ、創意工夫をした取り組みを推進している。

問 キャリア教育の課題は。

答 勤労観や職業観の育成のみに焦点が絞られ、社会的・職業的自立のために必要な能力の育成が軽視される傾向がある。



渡辺 孝男 議員

中之島公園整備

問 市民が伸び伸びと自然体験ができるよう、中之島公園東側の森を整備する考えは。

答 樹木を間伐することにより森として保全し、自然の中で自由に遊ぶことができる場としての整備を目指している。既に整備の済んだ所では、各種イベント等で散策や自然体験学習のワークショップの場として利用しており、今後も土地所有者や各種団体、中之島公園指定管理者とも協議、相談しながら、森の活用や整備内容について考えていきたい。

問 同公園北側に管理道路が整備されているが、今渡ダムまで整備する考えは。

答 中之島公園北側の河川管理道路と今渡ダムまでの市道川合92号線を結ぶことにより、遊歩道の連続性が確保され、利便性や魅力の向上が図れると考えている。遊歩道の計画については、損傷している箇所を修繕しながら、できるだけ既存の道を利用する形で整備していく。

あい愛バス

問 あい愛バスの利用向上施策は。

答 長良川鉄道等と連携し、イベントを開催することは、非常に有効である。長良川鉄道は、さまざまな企画列車を運行しており、今後は、あい愛バスも含めた企画列車なども長良川鉄道と連携して展開していきたい。

また、他の部署と連携して、市内の観光スポット・名勝に行くことができるコースや北部の登山に利用できるコース、バスを利用したウォーキングコースなどをモデルコースとして、広報紙やさまざまな媒体を利用し、提案・紹介をしていきたい。多くの方にバスを利用して、美濃加茂市を楽しんでもらえるような企画を考えていきたい。



あい愛バス

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



酒向 信幸 議員

農泊

問 農林水産省は、農業体験をフーチャーした民泊施設「農泊」を推進していくことを発表した。今後の地域の活性化にも繋がると思うが、市でも研究してはどうか。

答 農泊は、農山村にある豊富な自然や農産物、食文化などを武器に、地域に滞在する人を増やし、宿泊者や農産物の消費拡大などにより、地域の活性化が見込めるとされている。その実施には、自然環境に加え、もてなしのマンパワーが欠かせない。市として、可能性について研究していきたい。

問 本市に寄附された、伊深町の櫻井邸や市内の空き家を農泊施設に改築・改装し、活用してみているかどうか。

答 全国では、地域の資源として古民家を改修し、レストランや宿泊施設として多くの旅行者に利用され、地域の活性化に寄与している事例がある。市内の空き家にはそういった可能性がある物件もあると考えるが、一定のエリアでの取り組みや、空き家を活用し運営する担い手の発掘、育成も課題

として挙げられる。今後は、そのあたりも見極めながら検討していきたい。

若者委員会

問 平成29年3月に発足した若者委員会は、これまでに3回開催されたが、委員9名の参加状況はどうか。また、委員会の雰囲気や委員会の成果は、どのようなものがあるか。

答 参加は、距離的な事由もあり、9名全員がすべての委員会に参加することは難しいが、若者が得意とするインターネットを利用した情報共有・交換ツールを活用し、委員全員の意思を共有するよう努めている。また、委員会の雰囲気としては、美濃加茂市にゆかりのある若者たちが、東京や地元から主体的に参加し、アットホームな雰囲気を保ちながら、まちづくりについて、協議や議論を重ねることにより、新たな気づきと刺激を受け、見受けられ、個人の成長に大きく役立っていると感じている。



若者委員会



高井 厚 議員

「成年後見制度
利用促進基本計画」の策定

問 精神上的の障がいにより判断能力が十分でない人が、不利益を被らないようにする成年後見制度は、認知症を患う人も増加の兆しの中、今後その必要性が高まっていく。認知症は高齢者とのかわり強く、2035年には超高齢化社会が展開し、3人に1人が65歳以上と言われて

いる。本市では平成29年4月1日現在、65歳以上は12,574人、高齢化率22・3%と聞いている。精神上的の障がいや認知症などの方々の権利擁護は、人としての尊厳ある生活を維持していく上で、家族や身内は言うに及ばず、社会としても支援していくべき課題である。本市における成年後見制度の利用状況はどうなっているか。

答 制度利用について、市長申立て以外は、申立ても結果も市を経由しないので、常時人数を把握することはできないが、家庭裁判所御嵩支部における平成29年8月末の実績によると、後見人39名、保佐人11名、補助人1名の合計51名

が制度を利用している。任意後見人については、現時点での利用はない。

問 昨年度末、内閣府より「成年後見制度利用促進基本計画」策定についての通知があった。今後に向けた本市の対応や準備の状況は。

答 現時点では、家庭裁判所御嵩支部管内の範囲で、弁護士会、司法書士会、社会福祉協議会などの専門機関や専門職と、権利擁護についての在り方を検討する協議体の設置に向けて準備を進めているところである。今後、法人後見団体の設立などを視野に、本市の計画の策定を目指していく。

問 この利用促進計画を立案することにより、期待するメリットは何か。

答 計画の策定により、財産管理のみならず、意思決定支援・身上保護など福祉的視点も重視した後見人の選任や、利用者の能力に応じて補助・保佐・後見への適切な移行が明確化され、早期からの制度利用が促進できること、さらには地域連携ネットワークなどの組織づくりの活発化などが期待できると考えている。

委員会委員の変更

各委員会において、下記のとおり変更がありましたのでお知らせします。

特別委員会の正副委員長

予算決算特別委員会委員長：坂井 知足
議会改革特別委員会副委員長：片桐 美良

新庁舎建設特別委員会委員長　：高井　厚
まちづくり特別委員会副委員長：酒向　信幸

常任委員会委員の変更

文教民生常任委員会：片桐 美良

企画建設常任委員会：高井 厚

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいたご意見を掲載します。

- ・今回から新しい議長となり、新しい気持ちで傍聴できました。また、議員と執行部の全てにタブレットが配備され、今まで以上に活気を感じました。
- ・堂上蜂屋柿についての質問と答弁を聞いたことがよかったです。発展を願っている者としては、ぜひ頑張っていたきたい。
- ・美濃加茂市が核のごみの受け皿にならないようお願いします。
- ・最近、急に住宅が建っている地域に、小規模でもいいので公園ができるということです。
- ・最初に傍聴した時は、大変敷居が高く感じられましたが、少しずつ身近に感じられるようになってきました。傍聴するたび、市や市民のために、色々な政策があることを知ることがができます。
- ・10月から再編運行された、あい愛バスが1カ月で4千人以上に利用されていることに驚きました。

議
会
日
誌

(主なもの)

11月	1日	企画建設常任委員会協議会
3日	市功労者表彰	
5日	市芸能連盟芸能祭 eikamonまるごと環境フェア	
6日	地方自治連絡協議会(岐阜市)	
8日	中濃十市議会議長会議員研修会	
9日	国民健康保険運営協議会 県都市国民健康保険運営協議会 連合会総会(中津川市)	
18日	PTA研究発表& 子どもをたくましく育てるつどい	
20日	全国環境整備事業協同組合 連合会大会(岐阜市)	
21日	市高齢者施策等運営協議会	
22日	全国市議会議長会国会対策委員会 (東京都)	
24日	可茂地域市町村議会議員研修会 (可児市)	
29日	議会運営委員会 議会だより編集委員会	
30日	中濃地域農業共済事務組合 議会定例会(関市)	
12月	1日	市議会第4回定例会 (12月21日閉会)
2日	中濃法人会要望受領	
9日	議会だより編集委員会	
13日	軟式野球連盟年度末総会	
16日	市朗読フェスティバル	
18日	新庁舎建設特別委員会	
20日	市体育協会理事会	
22日	西体育館建替工事起工式	
23日	都市計画審議会	
24日	議会運営委員会	

26日	議会だより編集委員会	
27日	可茂地域一部事務組合議会定例会	
28日	消防団年末夜警巡視	
1月	5日	議会だより編集委員会
6日	出初式・新春消防友の会	
7日	みのかも成人式	
12日	岐阜県議会議員研修会(岐阜市) 美濃加茂商工会議所創立記念 新春賀詞交歓会	
13日	加茂防衛協会支部役員及び 女性部新年互礼会 美濃加茂青年会議所新年会	
14日	堂上蜂屋柿茶会	
15日	堂上蜂屋柿振興会品評会	
16日	全国市議会議長会国会対策委員会 (東京都)	
17日	議会だより編集委員会	
22日	加茂防衛協会新年会	
24日	可茂地域町村行政情報交換会	
29日	市健寿連合会新年互礼会 市長選挙当選証書付与式	



今定例会の議場装花：加茂農林高校園芸流通科の生徒さんが作成

活動 ピックアップ

新たな常任委員会委員で 現地視察を行いました

10月20日から文教民生常任委員会、企画建設常任委員会が新たな委員構成となったことに伴い、各委員会が所管事務に関する現地視察を行いました。

○文教民生常任委員会(10月31日)

■山之上こども園…

認定こども園の現状、里山遊びなど保育の状況を視察



■櫻井邸(伊深町)…

寄附物件の概況、建物の現状を視察



■西体育館…

建替工事の進捗状況、現場着手した西体育館を視察



■山手小学校…

南舎増築工事完成状況、竣工した山手小学校を視察



○企画建設常任委員会(11月1日)

■中山道太田宿…

姫Biz・観光施設整備事業の状況、起業家支援や中山道太田宿修景補助金の状況を視察



■JAめぐみのみのかも営農経済センター(前平町)…

元気な農業産地構造改革支援事業の状況、野菜収蔵庫等を視察



■配水管布設替工事(山之上町佐口)…

佐口幹線第2工区(不断水分岐工法)を視察



■中之島公園…

かわまちづくり整備事業の進捗状況、中之島公園整備を視察



タブレットを導入しました

議会改革の一環として進めてきたタブレット機器の導入を、今定例会から行いました。

議会では、昨年度からタブレット導入について研究を始め、今年度、議会改革特別委員会で検討を重ね、平成29年第4回定例会から運用を開始しました。

まずは、紙媒体と併用しながら操作に慣れ、本格導入となります。また、執行部も既存のタブレットを活用し、効果を検証しながら一体となって進めていきます。



タブレット操作研修の様子



本会議、委員会でのタブレット活用の様子

編集後記

新しい市長が誕生し、新たな市政がスタートしました。市議会としましては、新年度の予算審議や新庁舎建設計画の進展等、市民の皆様からの負託に応えていかなければなりません。

市議会では、タブレットの活用を執行部に促し、ペーパーレス化等、事務効率化を進めています。

議会だより編集委員会としまして、写真を増やし、読みやすさ、わかりやすさを深め、より身近に感じられる紙面を心掛けていきます。

世界情勢が厳しい折ですが、冬のオリンピックもいよいよ開催され、日本選手の活躍が期待されます。

笑顔の多い年になってほしいものです。

森 弓子

次の定例会の予定

平成30年市議会第1回定例会

2月27日(火)	初 日
3月 7日(水)	一般質問
8日(木)	一般質問
9日(金)	一般質問
12日(月)	質 疑
22日(木)	最 終 日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

【今号から新たな編集委員が編集を行いました。】

次回の議会だよりは、平成30年5月1日を予定しています。
ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

議会だより編集委員

(中央左)委員長：森 弓子 (中央右)副委員長：柘植宏一
(左から)金井文敏 渡辺孝男 日置祥子 渡辺義昌

